

令和5年度 第4回 聴覚障害者センター指定管理者運営委員会協議の概要

- 1 日 時：令和5年11月18日（土）13：30～
開会：13時24分 閉会：14時25分
- 2 場 所：岡山県聴覚障害者センター研修室
- 3 出席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 中西 厚美、井下 智貴、中務 雅弘
岡山県難聴者協会 森 俊己、竹上 敦典、谷口 進
欠席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 東 久示
- 4 会議に出席した者
岡山県聴覚障害者センター 所長 西條 保幸
- 5 情報保障：岡山県聴覚障害者センター職員3名、岡山県要約筆記団体連絡会2名
- 6 報告事項
 - (1) 令和5年9月・10月の月例報告
 - (2) 令和5年10月までの各種事業の実施状況と計画
 - (3) 第8回文化講演会の実施報告について
 - (4) 災害救援専門ボランティア研修会の実施報告について
 - (5) スマホ教室の開催について
- 7 協議事項
 - (1) TRS 利用登録会の活用について
- 8 その他
 - (1) 次回運営委員会の会議日程について
- 9 協議の内容（○は委員の発言、□はセンターの発言）
 - ① 月例報告書について
 - 9月、10月は今年度も昨年度も1000人超と利用者数が多いが理由は何か。
 - 手話検定試験や地ボラ、災ボラなどのセンター行事が集中する時期なので利用者数が多くなっている。
 - コロナ前とコロナ後の利用者の状況はどうか。
 - コロナ前は平均で月に1,000人、年間換算で12,000人ぐらいの利用者数であった。コロナの影響で令和2年度から減少し、令和3年度は過去最低の数

字であった（8,974人）。令和4年度から増加に転じ、今年度は3年ぶりに10,000人を超えると予想している。

② 各種事業の実施状況と計画

- 士養成研修であるが期間の表示がおかしいのではないか。
- 研修終期が R5.10 になっているのは、最終回の研修日を特定せずに10月以降に実施しようという計画であったためそのように記載した。実際にはまだ終了していない。（振り返りと閉講式が未実施）
- 意思疎通支援者派遣事業（連絡調整）の要約広域派遣の9月分は1件・3人になっているがその内容は何か。
- 要約筆記者の派遣に関しては団体連絡会に業務委託しているので詳細は把握していない。
- 業務委託しているのであれば詳細を把握しておくべきではないのか。
- 本来センターが行なう広域派遣をセンターが実施出来ないので団体連絡会に委託している。派遣業務（広域派遣）をきちんと実施して件数を報告していただければそれで良いと考えている。
- 委託に出しているのであれば実績報告を求めて派遣の実態を把握しておく必要があるのでは。
- そうかもしれない。検討させていただきたい。
- 電話リレーサービスの利用登録会であるがどこでやっているのか。また、支払方法に振込票決済があるが振込手数料が必要になるのか。
- 参加人数が少ないのでライブラリで実施している。振込手数料については承知していないので調べさせていただく。
(振込手数料は発生しないことを後日各委員に回答)

③ その他

- 先日、県主催の意思疎通支援事業担当者会議があったが、どのような内容だったのか。
- センター所長は会議に参加していないので承知していない。しかし、当日に配布した岡山県内市町村の意思疎通支援事業の状況に関する資料は入手しているので資料の提供はできる。
- 会議に参加した。県内の意思疎通支援事業の実施状況を把握し、課題を整理して適切な実施方法を検討するための会議である。行政側には人事異動によりなかなか専門性が育まれないことや、聞こえない人がディサービスで常時通訳者を利用している実態や、ある市町村では専任通訳者が不在の時の窓口の対応の仕方に問題があるという話が出た。
- 意思疎通支援者派遣要綱に関しては、平成25年の厚生労働省通達に基づくモデル要綱が各市町村で採用されているのか。

○ 県・市町村ともにそのモデル要綱に基づき要綱を作成していると思う。

④ 第5回運営委員会の日程について

○ 第5回委員会は令和5年1月27日（土）13時30分からの開催とする。